Daigasグループとは どのような企業なのか?

Daigasグループは、国内・海外のエネルギー事業に加え、 ライフ&ビジネス ソリューション(LBS)事業など、 当社グループのバリューチェーンやノウハウを生かして、既存事業の強化や 新たな事業領域の拡大に挑戦し続ける総合エネルギー企業です。

その設立から現在に至るまでの事業成長の歴史と、 価値創造のプロセスについてご紹介します。

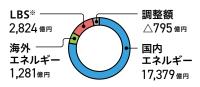
Daigasグループの概要

- **16** At a Glance
- **17** Daigasグループ 事業成長の歴史
- 19 事業紹介
- 20 価値創造プロセス
- 21 競争力のある資本



At a Glance [2025年3月期]

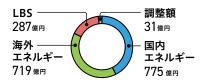
連結売上高



20,690億円

※ライフ&ビジネフ ソリューション

セグメント利益



1,813億円

セグメント資産



32,005億円

連結子会社数



163社

連結従業員数



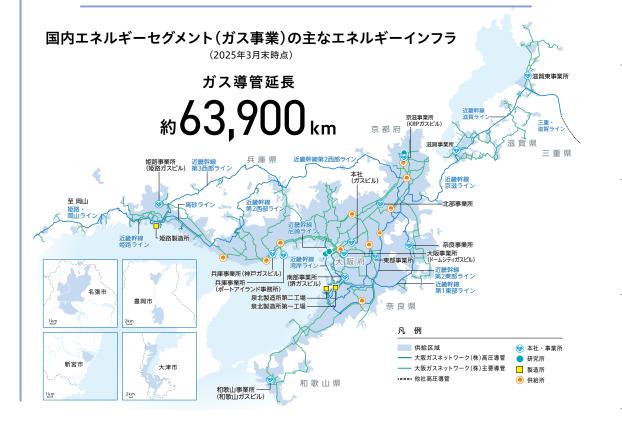
21,404_A

都市ガスの 国内販売シェア



海外エネルギーセグメントの事業プロジェクト





Daigasグループ 事業成長の歴史

Daigasグループは1905年(明治38年)にガスの供給を開始しました。それから120年、ガス燈を灯すことから始まったガス事業は、社会や環境変化のなかで幾多の困難にぶつかりながら も、調理、暖房、給湯、発電まで用途を広げてきました。また、エネルギー事業で培ったお客さまや地域とのつながりを源泉に、事業領域を拡大し、多様な商品・サービス・ソリューションを提 供する企業グループに発展してきました。

エネルギー事業におけるイノベーションの歴史





産業用(ガスバーナー)

コージェネレーション・燃料電池

産業用(ボイラ・工業炉)

給湯(給湯暖房) 床暖房 浴室乾燥機

家庭用・業務用

暖房(ガスストーブ、ファンヒーター)

(厨房・暖房・給湯)

都市ガス用途開発

ガス燈

調理(ガスかまど)

調理(レンジ)

調理(炊飯器、グリル付きコンロ)



都市ガス原料の低炭素化

石炭系

石油系

天然ガス

電力事業・海外エネルギー事業

電源開発

1900

1910

1920

1930 1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000 2010

2020

2025 (年)

ニュー-

トラル

への挑戦

社会的背景とグループの取り組み

社会課題・ニーズ

地域の 安全性 向上

石油ランプからガス燈へ

当時、電灯はまだ高価で、普及 していた石油ランプはしばしば 火事の原因となっており、都市 部の社会課題の一つでした。

ガス燈の普及に努める

ガス供給 開始

会社設立理由に市民への 安全で低廉なガスの供給 を掲げ、ガス燈の普及に努 めました。

ライフ スタイルの 変化

ガスによって変わる生活

様々な牛活様式や人々の 慣習も変化しつつあり、女 性の社会進出も始まりま した。

新しい 暮らしの 提案

ご家庭の厨房へのガス普 及は従来の竈調理におけ る家事の負担を大幅に軽 減させました。

人口増加・戦後復興 エネルギー

需要の 増加

エネルギー需要の増加や急 激な都市化への対応が必要 となりました。

LNGの 導入

天然ガス転換は膨大な先行 投資を伴う長期プロジェク トでしたが、供給安定性向上 や環境負荷軽減等が図られ ました。

持続可能な 社会の

実現

SDGs採択、パリ協定発効、 TCFD提言発表等、全世界 が取り組むべき喫緊の課題 として挙げられています。

環境への関心の高まり

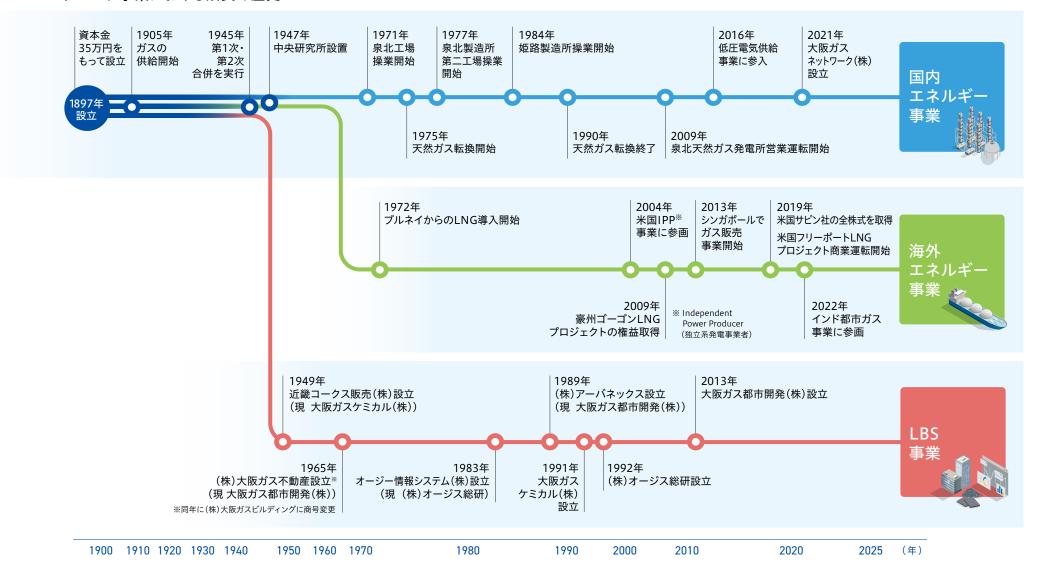
先進的な 商品の 開発

先進的な機器・システムや 技術開発を行い、お客さま とともに2050年のカーボン ニュートラル実現を目指し ます。

Daigasグループの価値共創



グループ事業における成長の歴史



事業紹介

Daigasグループは国内エネルギー事業、海外エネルギー事業、ライフ&ビジネス ソリューション(LBS)事業という3つの事業分野で培ったノウハウと競争力のある資本を活用し、既存事業のさらなる成長と、国内外を問わず新たな事業領域の拡大に積極的にチャレンジすることで、複数の事業の集合体としての進化と「ミライ価値」の実現を目指します。

国内エネルギー事業



事業ユニット ガス製造・エンジニアリング/電力

ガス製造所のオペレーション・メンテナンス業務や火力発電所や再 生可能エネルギー発電所の開発・運転・維持管理等を担っています。

低炭素なLNGやCO2フリーの電力など多彩なエネルギーの提供に加え、エンジニアリング事業やプラントの設計など、低・脱炭素社会実現に向けた技術開発等により環境価値を創造しています。



事業ユニット ネットワーク

大阪ガスネットワーク(株)*は都市ガス 供給の強固なネットワークと万全の保安 体制を構築するとともに、ノウハウの深化 や最先端のデジタル技術の活用によって、 安心・安全に都市ガスを届けています。



※2021年4月1日に分計準備会社として設立、2022年に分社化

事業ユニット エナジーソリューション

ご家庭や業務用・産業用のお客さまに向け、エネルギーをはじめとする先進的な商品・サービスの開発や、その販売拡大に取り組み、お客さまへの先進的で多様なソリューションの共創に取り組んでいます。



事業ユニットトレード

LNGの調達先・価格指標等の多様化を進め、安定的に調達したLNG を国内外のお客さまに供給しています。

海外エネルギー事業



事業ユニット 資源・海外

米国・アジア・オセアニアを中心に海外事業を 成長・拡大させています。

上流

米国シェールガス開発会社(サビン社)をは じめとするガス田プロジェクトを通じて、生産 量・利益拡大に取り組んでいます。

北米中下流

国内で培ったノウハウを活用して、海外での 発電事業やLNG基地事業、エネルギーサービ ス事業などに参画しています。

アジア

国内都市ガス事業で培った経験・強みを生かし、都市ガスインフラの整備を進め販売拡大に取り組んでいます。再生可能エネルギー事業等にも取り組み、アジア諸国の経済発展とエネルギーの低炭素化に貢献しています。



ライフ&ビジネス ソリューション(LBS)事業



事業ユニット 都市開発

分譲・賃貸マンション、オフィスビル、物流施設 などの物件の開発、運営管理、私募リートへの

物件売却など、不 動産事業を幅広く 展開しています。



事業ユニット 情報

当社グループの事業向けシステム開発・運用を祖業とし、M&Aによりシステム技術を高めつつ、ITコンサルティング、システム開発、運用管理、データ分析等を通じて、社内外のニーズに応

じたトータルソ リューションを提 供し、デジタル化 を支援しています。



事業ユニット 材料

大阪ガスが培った石炭化学技術(石炭を原料としたガス製造の副産物の応用等)により、ファイン材料、保存剤、炭素材料、活性炭といった高

機能素材の研究 開発、製造、販売 を行い、国内外で 幅広く事業を展開 しています。



価値創造プロセス

Daigasグループは創業以来大切に してきた価値観とこれまで培った競争 力のある資本をもとに、持続可能な社 会と価値創造の実現を目指します。

Daigasグループ

企業理念

Daigasグループ

企業行動憲章

持続的な成長

社会課題の

解決に向けた

価値共創

競争力のある

資本

☐ P.21

INPUT





カーボンニュートラル 潮流の加速



労働人口の減少・ 少子高齢化



価値観の 多様化の加速



不確実性の高まり



エネルギー セキュリティへの 関心の高まり



デジタル化の 加速

目指す姿「暮らしとビジネスの"さらなる進化"のお役に立つ企業グループ |

2024-2026 Connecting Ambitious Dreams 2023

2030

2050

持続可能な

社会の

実現

カーボン

ニュートラル

社会の

実現

マテリアリティ 🕮 P.47

- 1. エネルギーのカーボンニュートラル化
- 2. お客さまと社会のレジリエンス向上
- 3. お客さまの価値観に寄り添う先進的で多様なソリューションの共創
- 4. 従業員と企業が共鳴し高め合う環境づくり
- 5. 健全でしなやかな経営基盤の維持・向上

重点戦略 「3つの約束」



ミライ価値の 共創

LBS事業

Ш

経営基盤の

進化

国内エネルギー事業

事業ポートフォリオ

価値創造の基盤

コーポレート・ガバナンス □ P.65 サステナビリティ・マネジメント □ P.47

OUTPUT / OUTCOME

2030年度経営目標

ROIC ·············· 6%程度**1 ROE ···················10%程度**1

ミライ価値の共創

e-メタン社会実装の推進 ------1%導入

重大事故・自社起因の 重大供給支障件数

.....・ ガロ

お客さまアカウント数 -----1.150万件

従業員の輝き向上

ワークエンゲージメントスコア*2 ------50以上

経営基盤の進化

女性取締役比率 30%以上

資本の強化

企業理念の

実現

4つの価値創造

P.5-P.6

お客さま価値の創造



社会価値の創造



株主さま価値の創造



従業員価値の創造



※1 ROIC、ROEは2030年代早期段階の目標 ※2 アドバンテッジタフネス調査を利用している企業の ワークエンゲージメント結果における偏差値

20

競争力のある資本

Daigasグループが保有する競争力のある資本を戦略的に強化し、持続的な成長を目指します。

	-	
ш	ш	
		ı

財務資本

持続的な事業成長を目指して、規律ある財務戦略に 支えられた強固で健全な 財務基盤を維持しつつ、 企業価値の最大化を図り ます。

X

製造資本

エネルギー供給のための様々な設備は、当社グループにとって欠かすことのできない資本です。

トランジション期の成長領域として、天然ガス発電所やシェールガス開発等の製造資本を強化していきます。

-**;**∰-

知的資本

エネルギー事業で培ったガス合成・触媒に関する技術や、LNG受け入れ基地等の設計・建設技術など、様々な技術開発の知見を保有しています。これらの知的財産を活用するとともに、e-メタンの導入等、カーボンニュートラルに資する技術開発を強化していきます。

人的資本

中長期的な企業価値向上のためには非連続なイノベーションを生み出すことが重要であり、その原動力となるのは多様な個人による共創と考えています。従業員一人ひとりのエンゲージメント向上に加え、人材の確保・育成を強化し、持続的な成長を目指します。

社会資本

地域に根差した事業を展開する当社グループは、幅広い分野のステークホルダーと接点を持つ機会を有し、信頼関係を構築しています。ステークホルダーとの連携によるサービス創出を強化し、事業の持続的な成長を目指します。

自然資本

天然ガスは限りある資源と認識し、効率・効果的な利用に努めるとともにエネルギーの安定供給、保安の確保のため、エネルギー源の多様化を進めています。天然ガスと再生可能エネルギーの有効活用により、"S+3E*"の実現を目指します。

※S+3E:安全性(Safety)、 安定供給(Energy security)、 経済効率性(Economic efficiency)、 環境性(Environment)

2025年3月期末時点

[財務健全性*]

自己資本比率 55.5%

D/E比率

0.50倍

※発行済ハイブリッド社債の 資本性50%を調整 設備投資額(2024年度実績)

2,217億円

2 力所

ガス製造所

中央指令室**

※24時間365目の安定供給・保安確保

特許保有件数(国内)

2,740件

研究開発費(2024年度実績)

126.9億円

セグメントごとの開発費 (国内エネルギー:93.7億円 LBS:33.2億円) グループ従業員数

21,404_A

ワークエンゲージメントスコア*

※アドバンテッジタフネス調査を利用している企業のワークエンゲージメント結果における偏差値

低圧電気 供給件数 約**192**万件

ガス 供給件数 約**511**万件

ステークホルダーの 皆さまとの共創関係

LNG取扱量(2024年度実績)

約1,120万トン

再工ネ普及貢献量

370万kW

「中期経営計画2026」目標

財務健全性に 配慮しながら 財務レバレッジを拡大

ROIC 5.0%程度 ROE 8.0%程度 自己資本比率 45%以上 D/E比率 0.8以下 (2026年度)

☐ P.11-P.12、P.38

姫路天然ガス発電所の 建設等の電力事業、 米国のシェールガス 開発の加速等

成長投資のうち、 重点成長領域への投資 約4,600億円 (2024年度-2026年度)

☐ P.24、P.41、P.43

メタネーション 技術開発の推進

成長投資のうち、 カーボンニュートラル領域 への投資 約1,000億円 (2024年度-2026年度)

P.24, P.29

人材の確保・育成の 強化

☐ P.36

らなる強化の方向性

ステークホルダーとの 連携による新ビジネス・ 新サービスの創出

P.35

再生可能エネルギーの普及に向けた貢献

再エネ普及貢献量 400万kW (2026年度)

☐ **P.41**